

編集後記

2024年4月の編集後記です。新年度となり、新天地で気持ち新たに新生活が始まる先生方もおられることと思います。早速多忙な毎日が始まり、春の風情を感じる時間もないかもしれません。日本では満開の桜が新たな門出に彩りを添えてくれます。奈良では日本一の桜の名所と言われる「一目千本」の世界遺産・吉野山の桜がちょうど見頃です。いにしえの時代から続く絶景が国のまほろばに思いを馳せ、心を和ませてくれます。

さて、「臨床神経学」では多くの興味ある症例報告が掲載されています。自ら経験した症例を様々な角度から論点を整理して、論文として読者に貴重な情報共有をしてくれています。学会発表でも多くの努力を積み重ねて同様の過程を経ますが、最後に文字にして発信するか否かにより、情報の展開には天地の差があります。学会発表のみを行い未だ論文化されていない症例発表を、ぜひ論文として完成させて本誌に投稿いただくと幸いです。近年は各地方会での複数の優秀な症例発表が推薦論文として査読を経て本誌へ掲載いただいています。自明のことですが、学会発表がなされた症例の論文化は、学会発表をしていない症例の論文化と比べ、努力と労力は雲泥の差です。春は生命誕生の季節、この時期に過去の埋もれている症例発表を掘り起

こし、息吹を与えてください。

現在、私自身は日本神経学会編集委員としてこの紙面を書いています。広報委員会、卒前・初期臨床研修教育小委員会にも属しております。こちらでは医学生・研修医向けホームページ (<https://resident.neurology-jp.org/>) を担当しています。脳神経内科の専攻医のみならず、脳神経内科を目指そうとしている初期研修医や医学生に、各施設やイベントの紹介、将来の脳神経内科に関するエッセイなど毎月楽しい話題を掲載しています。また、2024年度日本神経学会「医学生・研修医のためのウェブセミナー」を私がオーガナイザーとして興味ある演題を取り揃えて、9月8日(日)に開催予定としています。ぜひご案内いただくと幸いです。

脳神経内科の次世代を担う人材育成は至上命題で、様々なツールを駆使して脳神経内科を発信できればと考えています。その意味でも、伝統ある本誌「臨床神経学」は脳神経内科の存在意義の向上にも貢献しうると確信しています。医学生や初期研修医の投稿も大歓迎です。ぜひキャリアパスのスタートに本誌を利用していただくと幸いです。

(杉江和馬)

〈編集委員〉

編集委員長	小野寺 理	編集副委員長	三澤 園子		
編集幹事	石浦 浩之	漆谷 真	杉江 和馬		
編集委員	今井 富裕	木下 真幸子	古賀 政利	櫻井 圭太	柴田 護
下畑 享良	鈴木 匡子	辻野 彰	坪井 義夫	中嶋 秀人	新野 正明

「臨床神経学」	第64巻 第4号	2024年4月1日発行
編集者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル	一般社団法人日本神経学会
発行者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル	西山 和利
印刷所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入	中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>